

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● 木質バイオマス研修会を開催しました

木質バイオマスの利用は、二酸化炭素の排出削減につながることから脱炭素社会の実現に貢献するものです。近年、原油・電力価格が高騰していることから、木質バイオマスを利用した熱電併給システムに注目が集まっています。

こうしたことから、令和5年1月26日（木）に岐阜県立森林文化アカデミーで木質バイオマス研修会を開催し、会員26人が参加しました。

研修会では、「木質バイオマスを利用した熱電併給システムの現状と課題」と題して、合同会社CNリサーチ川越裕之氏に講演していただきました。

川越氏から、木質バイオマスを活用した熱電併給システムの導入にあたっては、「①燃料サプライチェーンの構築」、「②熱利用契約内容の精査」、「③条件を踏まえた技術選択」、「④熱のデマンドサイドからの事業構築」、「⑤採算性を踏まえた燃料選択」、「⑥まちづくりと一体となった事業形成」の6項目がポイントとなるとの説明がありました。

特に地域と連携しながら、燃料材のサプライチェーンを構築するとともに、熱の需要先を確保することが重要とのことでした。

続いて全国各地で地域材を活用した熱電併給施設の整備・運営に関わっている3つの事業者から事例紹介をしていただきました。

<主な施設>

①事業者：エフビットコミュニケーションズ（株）（京都市）

施設：本山バイオマス発電所（高知県本山町）

概要：バイオマス発電所（2MW級）と、排熱・排ガスを次世代型園芸施設で利用することで、カーボンマイナス（カーボンネガティブ）を実現。次世代型園芸施設を核に、農業クラスターモデルの構築につなげる。

②事業者：シン・エナジー（株）（神戸市）

施設：大生黒潮発電所（宮崎県串間市）

概要：バイオマス発電所（2MW級）と、排熱をバイナリー発電や木質ペレット製造工場で利用。木質ペレットを地域施設に供給することで、脱炭素社会の実現に貢献していく。同工場のペレット製造量は、国内シェアの約7%を占める。

③事業者：フォレストエナジー（株）（東京都品川区）

施設：津和野フォレストエナジー（島根県津和野町）

概要：バイオマス発電所（480KW級）と、排熱をチップ工場で利用。チップを地域内の病院や福祉施設等のボイラーで利用し脱炭素社会の実現に貢献していく。また副産物のバイオ炭の地域内の農地等での利用も進める。



川越裕之氏による講演



エフビットコミュニケーションズ(株)



シン・エナジー(株)



フォレストエナジー(株)

木質バイオマスについては会員皆様の関心が非常に高いことから、令和5年度もこうした研修会や先進的な施設の視察などを企画してまいりますので、積極的な参加をお願いします。

● 若手会員による情報交流会を開催しました

会員間の連携強化と異業種交流を進めるため、令和5年2月10日（金）にホテルグランヴェール岐山で「若手会員による情報交流会」を開催したところ、8社から15人が参加しました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、交流会は自粛を余儀なくされていましたが、感染状況が落ち着いてきたことから3年ぶりに開催することができました。

情報交流会では、あらかじめ特定のテーマを決めることはせず、参加者それぞれから職場や地域で取り組んでいることや、日頃から気になっていることなどを自由に話してもらいました。

例えば、マウンテンバイクを活用した森林空間利用の取組みや、山村地域の活性化に向け、一民間林業事業体としてではなく地域の一員として取り組んでいることなど、本来の業務とは別の取組みの紹介がありました。

その他にも、ニホンジカによる獣害への対策や木質バイオマス施設等への安定的な木材供給体制、林業労働安全対策、林業機械など多岐にわたる話題で活発な情報交換がされていました。

情報交流会を通して、これまでは関係性がなかった企業間の交流が深められるなど、参加者からは概ね好意的な感想が寄せられました。

こうしたことから、令和5年度も若手会員による情報交流会を開催できるよう準備を進めてまいります。



発起人((有)根尾開発小澤代表取締役)あいさつ



情報交流会

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp